



おのろ

(社)新潟青年会議所広報誌

<http://www.niigata-jc.com>

2005.VOL.7

日々革新！起そう 価値ある変化 ～自立した地域主権社会の形成へ向けて～

ブロック協議会第6回会員サッカー大会

2005年6月12日 日曜日

6月12日(日)第6回会員サッカー大会が新発田及び聖籠の地にて行われました。六月にしては少し肌寒い天気ながら熱い戦いが繰り広げられました。新潟JCイレブンが初戦に勝利すると2回戦、3回戦と順調に予選リーグを勝ち進み、なんと決勝戦進出を果たしました。惜しくも決勝戦で小千谷青年会議所に破れましたが名誉ある準優勝に輝きました。参加された新潟JCイレブン大変おめでとうございました。来年は是非、優勝を狙って頑張ってください。



6月例会

2005年6月15日 水曜日

6月15日(水)18:00～万代市民会館多目的ホールにてアイデンティティ推進委員会6月例会、題して「にいがたに求められる産業育成と産官学連携」～地域アイデンティティを推進していく新潟JCとしての役割を考える～をテーマに三部構成で開催されました。第一部ではアイデンティティ推進委員会によるにいがたのバイオを活用した産業の現状として食と環境の事例紹介、産官学との連携として(財)にいがた産業創造機構による商業育成のモデルケース紹介についてプレゼンテーションが行われ、第二部ではリレー形式にて(有)川作ファーム代表取締役川上作栄氏、(財)にいがた産業創造機構 内山雅彦氏をお招きし、川上氏におかれては、産業育成におけるバイオの有効性と課題を養豚を例に紹介され、内山氏におかれては、産業の活性化のために産官学連携の重要性と課題についてそれぞれご講演いただきました。第三部では、新潟JCの役割としてプレゼンテーションが行われました。にいがたの産業活性化(明るい豊かな社会の形成)には、バイオの有効活用、産官学との連携により、地域アイデンティティの確立が必要と認識できた例会でした。



わんぱく相撲県大会

2005年6月19日 日曜日

6月19日(日)見附の地で、わんぱく相撲・県大会が執り行われました。会場は、両国を彷彿させるほどのすばらしい会場で、天候にも恵まれ、まさにわんぱく相撲が執り行われるには、この上ないコンディションでありました。

団体戦においては、1次予選Cブロックで1位通過し、2次予選Bブロック3位と順当にコマを進め、決勝トーナメントでは第6位という成績を残しました。

尚、個人戦においては、健闘は致しましたが、惜しくも入賞する事はできませんでした。

結果、全国大会という舞台には立つ事ができませんでした。が、子供たちの懸命で頑張っている姿、負けても上級生が下級生をかばう姿など、わんぱく相撲を通じて沢山の事を子供たちに教えてあげられた事は大収穫ではないでしょうか。

オリエンテーション委員会そして仮入会の皆さま、練習からこの日まで本当にお疲れまでした。



おのろ
(社)新潟青年会議所広報誌

発行: 社団法人新潟青年会議所
〒951-8068新潟市上大川前通7番町1243番地
TEL 025-229-0874 FAX 025-22-7234
e-mail info@niigata-jc.com
URL <http://www.niigata-jc.com>
企画編集 2005年度情報通信戦略委員会
委員長 森田雅巳
副委員長 浜野義信 金田真人
幹事 肥田野正明
委員 大倉一浩 桑原弘光 小木将綱
洪井信之 浅見和仁 佐野由香利
中島正巳 渡辺博司 水倉直人
渡部竜三 内田将 志賀貴行